

総務産業建設常任委員会活動報告

6月定例会では、各課における事業の進捗状況について調査を行った。新年度に入り3カ月という期間であるが、適正な予算執行を確認した。

○総務部門

6月12日(月)開催

総務課

本町では、昨年12月からふるさと納税サイト「ふるさとチョイス」により、爆発的に寄付金が増額となった。しか



総務産業建設常任委員会

し、全国的な返礼品の過熱競争により、本町にも総務省からの指摘があった。委員からは、愛荘町を応援するために寄付してくださる全国の方々に大切に、引き続き町のPRに努めるよう指摘した。

税務課

平成28年度の各税の徴収実績をもとに、とりわけ滞納者に対する取り組みと、今年度の徴収対策について議論した。

管理課

旧町営住宅愛知川団地の跡地利用についての質疑が中心となった。地元説明会が行われているが、本町の道路形態やまちづくりにより重要な地域であることから、当委員会として引き続き説明を求めている。

その他、総務部門では、総合政策課、環境対策課、人権政策課について、それぞれ進捗状況に対し質疑を行った。

○産業建設部門

6月13日(火)開催

農林振興課

農業再生協議会の取り組み内容、集落営農組合の活動状況、法人化への取り組みについて質疑した。執行部からは、施設野菜の推進、営農組合法人化の推進について回答があった。

建設・下水道課

国道8号の渋滞解消に向け、県事業の神郷彦根線、愛知川右岸道路の改修には、町としても積極的に協力していくよう求めた。

商工観光課

中山道の活性化を目指す中で、中山道沿いの公衆トイレの設置状況について質疑があった。町長から、「中山道再生整備計画で、商店街のシャッターが開くように努めており、それとあわせてトイレの貸し出しをお願いしたいと思っている」との答弁があった。

現地視察

現在、旧愛知郡役所ならびに旧近江銀行の改修工事が行われている。今後、本町のまちづくり、中山道の活性化に重要な施設整備である。

6月12日(月)、13日(火)にそれぞれの施設の視察を行った。現在、両施設とも順調に工事が進められていることを確認した。今後も引き続き注視するとともに、施設運営に関しても議会としての監視機能を充分発揮できるように努めていきたい。



旧愛知郡役所・現地視察

教育民生常任委員会活動報告

6月定例会では、各課における事業の進捗状況について調査を行った。

○民生部門

6月14日(水)開催

住民課

後期高齢者医療保険料の激変緩和措置について質疑があり、高齢者と若者の世代間の公平を図るため、被扶養者軽減として28年度まで元被扶養者の均等割が9割軽減であった人が、29年度に7割軽減、



教育民生常任委員会

30年度に5割軽減、31年度になくす方向で進められている。

健康推進課

自殺対策強化事業に関して質疑があり、県では自殺対策基本法を受け21年度に基金を設置している。本町ではその基金を活用し取り組みんでいる。

働き盛りの男性など一定の効果が見られてきているが、若者の自殺については横ばい状態が続いているため、今回法律が改正され各自治体が計画を策定し、総合的に関係施策を連携させ、もう一歩進めなければならぬ。依然として自殺者数が減らない(比較的働き盛りの男性の世代が多い)状況なので、保健センターだけでなく関係機関や庁内の関係部署と連携を取り、行っていく必要がある。

子ども支援課

保育園の待機児童は、4月1日現在は12人である。内訳は「保護者が就労中で入所できない人が2人」「就労予定で入所できない人が5人」「就職活動中で入所でき



砂遊び中の園児たち(つくし保育園)

ない人が5人」である。特に一人の保育士が保育できる児童数が0歳児・1歳児では少ないことや保育士確保が難しいことも影響し、待機が多い状況である。

地域福祉課

民生児童委員の仕事量が多く、現状を解決するため協力の員の設置について質疑があり、複数の自治会を担当されている人に対して、協力を設置

○教育部門

6月15日(木)開催

教育振興課

●不登校生徒の学校対応について質疑があり、中学校では教員がチームを組み家庭訪問をしている。

●今年度、中学校の状況について質疑があり、教員の増により子どもへの関わりが強まり、問題行動が減少した。
●教員の時間外勤務状況について質疑があり、4月の平均時間外勤務実績は、学校によって違い64時間、41時間、57時間、66時間、83時間、67時間となっている。
働き方改革として定時退校日の設定、クラブ活動の完全休日、午後5時から6時以降の留守番電話設定等の対応を今後検討していきたい。